



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東
 コード番号 6143 URL https://www.sodick.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前島 裕史 TEL 045-942-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 2020年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	26,702	△18.4	345	△83.8	362	△82.5	105	△88.1
2019年12月期第2四半期	32,717	△21.0	2,127	△59.7	2,073	△60.0	892	△75.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △1,298百万円 (-%) 2019年12月期第2四半期 30百万円 (△98.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	2.25	1.93
2019年12月期第2四半期	18.98	16.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	116,992	56,846	48.5	1,206.60
2019年12月期	114,647	58,745	51.2	1,247.06

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 56,773百万円 2019年12月期 58,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	12.00	-	13.00	25.00
2020年12月期	-	12.00	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	△19.4	1,000	△70.8	1,000	△71.9	500	△75.0	10.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	53,363,016株	2019年12月期	53,450,916株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	6,310,499株	2019年12月期	6,407,799株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	47,026,602株	2019年12月期 2 Q	46,993,899株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、全世界的に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が抑制される等厳しい状況にあり、日本においても緊急事態宣言解除後も依然として先行きの見通せない状況が続いているほか、欧米でもロックダウンや外出制限等もあり厳しい状況が継続しています。当社の最大市場である中国の経済状況においては、感染が収束に向かった4月以降移動制限解除の動きが広がり、中国国内消費の回復も伝えられていますが、欧米への輸出が回復できていないこともあり、非常に不透明な状況となっています。

このような事業環境の中、当社グループは、長期経営計画「Next Stage 2026 ~Toward Further Growth~」を掲げ、「創造」「実行」「苦労・克服」という創業精神を基盤に豊かな未来につながる技術を磨き、ものづくりを通して持続可能な社会の実現にチャレンジしています。

当社では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、安全衛生面の徹底は元より、在宅勤務・時差出勤等を実施し、感染リスクを低減しつつ、業務を継続できる体制を維持してまいりました。営業活動におきましては、展示会が相次いで中止となっている中、WEB展示会を実施するなど、ITを活用した活動を展開しています。生産活動におきましても、需要減少に合わせた生産調整のため、タイ工場の稼働日の調整によりコスト低減を図っています。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高267億2百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益3億45百万円（前年同四半期比83.8%減）、経常利益3億62百万円（前年同四半期比82.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5百万円（前年同四半期比88.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

工作機械事業	売上高	17,063百万円	(前年同期比 27.2%減)
	営業利益	941百万円	(前年同期比 1,921百万円減)
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全世界的に景気が大幅に減速し、自動車や電子部品、航空宇宙など幅広い産業での事業活動停止等による製品出荷の後ろ倒しや設備投資を先送りする傾向が強く見られました。一方で、3月以降中国において5G関連、半導体関連分野で需要の回復も見られましたが、世界的な需要の落ち込みを補うことはできず、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。</p> <p>セグメント利益においても販売台数の減少に伴う工場稼働率の低下等により前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
産業機械事業	売上高	5,316百万円	(前年同期比 26.2%増)
	営業利益	276百万円	(前年同期比 279百万円増)
<p>全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制状況は継続しています。5Gスマートフォンのアンテナ部品向けやレンズ向け案件があった他、CASEなど次世代自動車関連向けなどの需要もあり、売上高は前年同期比で増加したものの、足元の需要状況については一服感が見られ、先行きが見通せない状況となっています。</p>			
食品機械事業	売上高	1,515百万円	(前年同期比 35.4%減)
	営業利益	5百万円	(前年同期比 287百万円減)
<p>各種製麺機、麺製造プラント、無菌包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っております。衛生面や省人化対応設備の他、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した需要増が見られたものの、主要な案件の売上見込み時期が下期以降であることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外食関連の設備投資の先送りの動きもありました。また、前年同期には、製麺関連の大口案件があったことから、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
その他	売上高	2,807百万円	(前年同期比 3.4%増)
	営業利益	219百万円	(前年同期比 155百万円増)
<p>精密コネクタなどの受託生産を行う精密金型・精密成形事業、リニアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されております。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セラミックス需要の減速は継続しています。金型成形事業においては、米中貿易摩擦の影響で事業環境が悪化した前年同期と比較すると売上高増ではあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による自動車産業の需要低迷により、先行き是不透明な状況が続いています。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、23億45百万円増加し、1,169億92百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加49億92百万円などがあげられますが、受取手形及び売掛金の減少21億65百万円などにより一部相殺されております。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、42億43百万円増加し、601億45百万円となりました。主な増加要因としては、長期借入金の増加30億41百万円、その他の流動負債の増加7億87百万円などがあげられます。

純資産は前連結会計年度末と比較して、18億98百万円減少し、568億46百万円となりました。主な減少要因としては、為替換算調整勘定の減少10億55百万円、利益剰余金の減少5億56百万円などがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、2020年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,873	38,866
受取手形及び売掛金	13,773	11,607
電子記録債権	1,589	1,930
商品及び製品	8,733	9,498
仕掛品	7,585	8,128
原材料及び貯蔵品	7,339	7,408
その他	2,774	2,169
貸倒引当金	△379	△474
流動資産合計	75,290	79,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,257	27,957
機械装置及び運搬具	20,887	20,724
その他	13,512	13,687
減価償却累計額	△30,800	△31,766
有形固定資産合計	31,856	30,603
無形固定資産		
のれん	1,494	1,417
その他	916	890
無形固定資産合計	2,411	2,307
投資その他の資産		
その他	5,184	5,041
貸倒引当金	△95	△95
投資その他の資産合計	5,088	4,946
固定資産合計	39,357	37,857
資産合計	114,647	116,992

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,231	4,948
電子記録債務	5,063	4,651
短期借入金	2,508	2,728
1年内償還予定の社債	140	8,121
1年内返済予定の長期借入金	8,944	8,868
未払法人税等	293	412
引当金	695	754
その他	5,215	6,003
流動負債合計	27,092	36,487
固定負債		
社債	8,841	790
長期借入金	18,203	21,244
引当金	271	223
退職給付に係る負債	545	527
資産除去債務	63	64
その他	885	808
固定負債合計	28,810	23,658
負債合計	55,902	60,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,785	20,785
資本剰余金	5,896	5,877
利益剰余金	33,670	33,114
自己株式	△4,647	△4,566
株主資本合計	55,705	55,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	901	543
為替換算調整勘定	2,286	1,230
退職給付に係る調整累計額	△227	△211
その他の包括利益累計額合計	2,960	1,562
非支配株主持分	79	73
純資産合計	58,745	56,846
負債純資産合計	114,647	116,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	32,717	26,702
売上原価	21,386	18,270
売上総利益	11,331	8,432
販売費及び一般管理費		
人件費	3,715	3,585
貸倒引当金繰入額	71	68
その他	5,416	4,432
販売費及び一般管理費合計	9,203	8,086
営業利益	2,127	345
営業外収益		
受取利息	120	127
受取配当金	215	86
持分法による投資利益	8	11
助成金収入	91	171
スクラップ売却益	10	6
その他	81	107
営業外収益合計	526	511
営業外費用		
支払利息	142	136
為替差損	241	197
貸倒引当金繰入額	152	40
その他	43	119
営業外費用合計	580	494
経常利益	2,073	362
特別利益		
固定資産売却益	8	21
その他	1	3
特別利益合計	10	24
特別損失		
固定資産売却損	50	2
固定資産除却損	21	4
関係会社株式評価損	44	—
関係会社出資金評価損	52	—
その他	3	1
特別損失合計	172	8
税金等調整前四半期純利益	1,911	378
法人税、住民税及び事業税	390	414
法人税等調整額	625	△137
法人税等合計	1,016	276
四半期純利益	895	101
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	892	105

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	895	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	△357
為替換算調整勘定	△675	△1,052
退職給付に係る調整額	△49	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△6
その他の包括利益合計	△864	△1,400
四半期包括利益	30	△1,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30	△1,292
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,911	378
減価償却費	1,667	1,671
のれん償却額	70	69
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51	105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	180	98
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	50	13
受取利息及び受取配当金	△335	△214
支払利息	142	136
為替差損益(△は益)	5	9
売上債権の増減額(△は増加)	2,739	1,692
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108	△1,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△979	351
未払金の増減額(△は減少)	△383	△78
前受金の増減額(△は減少)	434	829
未払消費税等の増減額(△は減少)	734	180
その他	141	906
小計	6,222	4,335
利息及び配当金の受取額	307	149
利息の支払額	△147	△140
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△575	△473
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,807	3,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△122	△37
定期預金の払戻による収入	10	-
有形固定資産の取得による支出	△3,294	△778
有形固定資産の売却による収入	518	135
無形固定資産の取得による支出	△138	△76
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	-
貸付けによる支出	△332	-
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△37	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,392	△746
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△413	249
長期借入れによる収入	3,900	7,100
長期借入金の返済による支出	△4,152	△4,119
社債の償還による支出	-	△70
自己株式の取得による支出	△0	△52
配当金の支払額	△563	△611
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△91	△116
その他	△13	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,335	2,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△434	△478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	645	5,008
現金及び現金同等物の期首残高	32,650	32,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,295	37,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,444	4,213	2,344	30,002	2,715	32,717	—	32,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	107	—	123	1,214	1,337	△1,337	—
計	23,459	4,321	2,344	30,125	3,930	34,055	△1,337	32,717
セグメント利益又は 損失(△)	2,862	△3	293	3,152	64	3,216	△1,089	2,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,089百万円には、セグメント間取引消去60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,149百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,063	5,316	1,515	23,894	2,807	26,702	—	26,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	5	—	67	859	927	△927	—
計	17,126	5,321	1,515	23,962	3,666	27,629	△927	26,702
セグメント利益	941	276	5	1,223	219	1,442	△1,097	345

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,097百万円には、セグメント間取引消去△51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,045百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。